

影絵は影法師

NHK「みんなのうた」をはじめ、あらゆるシーンを彩る影絵アート

劇団影法師では、舞台芸術の分野だけにとどまらず1988年NHK「みんなのうた」の「夕焼け貝がら」を皮切りに、2001年「パパとあなたの影ぼうし」「鶴」「2002年「夏恋花」等、数々の影絵製作を行う他CATV「わらべうたシリーズ」、奈良県奈良市で開催された「奈良シルクロード博」における大影絵館の技術協力など、幅広いスタンスで活動を行っています。また、2004年には、東芝EMI「東京事変」(Vo椎名林檎)のDVDジャケットイラストを担当。様々なメディアに魅力溢れる影絵を提供しています。



影法師は永年の国際文化交流の実績に対し、2004年に演劇団体として初の外務大臣賞を受賞しました

劇団影法師は1978年に創立。既成の概念にとらわれない斬新なアイデアと新技術を導入した創造活動により、文化庁主催公演を始め、日本全国を活動の場として、精力的な公演を続け、日本の児童青少年演劇界をリードして参りました。

また、劇団創立10周年を迎えた1988年より現在に至るまで、国際的視野に立った創作活動を推進し、欧米やアジア各国を代表する13カ国の劇団と20作品にもよぶ国際共同制作を行い、海外公演

も既に10数作品を25を超える国と地域において公演を実施しております。

これらの国際交流の功績により平成16年、劇団影法師は演劇団体初の外務大臣賞を受賞しております。今後も「活力ある舞台芸術の創造」を目指し、世界の人びとの芸術を通して相互理解を深める心の架け橋となることを願いながら、活動を続けて参ります。

影法師の 数々の 主な受賞歴

- 日中合作映画祭特別公演「百鬼夜行」
 - ・東京都優秀児童演劇選定優秀賞
 - ・(公社)日本演劇協会優秀賞
 - ・(公財)都民劇場優秀賞
- ・平成19年度文化庁本物の舞台芸術体験事業採択作品
- ・厚生省中央児童福祉審議会推薦作品
- ・平成23年度文化庁次代を担う子どもの文化芸術体験事業採択作品
- 日中合作大大人形劇「三蔵法師」
 - ・東京都優秀児童演劇選定優秀賞
 - ・(公社)日本演劇協会優秀賞
 - ・(公財)都民劇場優秀賞
- ・平成20年度文化庁本物の舞台芸術体験事業採択作品
- ・厚生省中央児童福祉審議会推薦作品
- スーパーカグエ「竹取物語」
 - ・文化庁優秀舞台芸術奨励事業公演採択
 - ・文化庁主催こども芸術劇場採択

劇団影法師の主な作品 ～斬新な企画と想像力～

<p>百鬼夜行 ●スイマー 人形の操作時の影を際立たせた画期的な技術</p>	<p>百鬼夜行 ●モテモテの木 切離しのデザインをそのまゝ生かした影絵人形</p>	<p>日本・中国国際共同制作 ●百鬼夜行 度々自らの魔法のような影絵</p>
<p>日本・カナダ国際共同制作 ●カニ山 デジタル機材を取り入れた斬新な舞台</p>	<p>日本・東アフリカ国際共同制作 ●アフリカの星 海外の音楽家と影法師のコラボレーション</p>	<p>スーパーカグエ ●竹取物語 日本一の大型立体影絵劇</p>
<p>日中合作大大人形劇 ●三蔵法師 120cmを超える大大人形に比べ舞はる大きな影絵</p>	<p>日本ASEAN6ヶ国6団体国際共同制作 ●プリズム アジアの新たな舞台芸術の発明</p>	<p>大大人形劇ミュージカル ●黒髪八次郎 ジュームス三木脚本/演出作/演劇界の一作</p>

妖怪 影絵劇 ゲゲゲの鬼太郎

消える、現れる、変身する!妖怪影絵誕生!!



見えてくる
おぼろ!

鬼太郎たちの妖怪世界は、私たちに、忘れかけていた大事なことを教えてくれます。

原作：水木しげる
協力：水木プロダクション

©水木プロダクション

Produced by
水木プロダクション

変幻自在の妖怪たちが、「本当に大切なもの」を語りかける!



妖怪影絵劇 ゲゲゲの鬼太郎 ～あらすじ～

骨しげなおじさんに、骨董屋に飾を持っていくように言われたユウト。初めて行く古道具店の中にあるいろいろなものに興味津々だが、そんな中、店の隅に座っている古い人形と目が合います。ユウトは、人形となにやら話をはじめますが、持ってきた籠が突然光を放ち一瞬にして、ユウトは籠に吸い込まれ不思議な空間に投げ出されます。そこで、出会う不思議な妖怪たちの魅力に引き込まれていくユウト。しかし、妖怪たちが欲しがっているのは人間の心。魂(心)を狙われているユウトを助けようと鬼太郎と仲間たちが立ち上がります。自分も妖怪族の一員である鬼太郎が、なぜ人間たちの味方をするのか?ユウト(人間)と鬼太郎(妖怪)の心に何かが芽生え始めます。

妖怪影絵の 魅力

動物の皮を使った影絵劇は、その表現の豊かさ、面白さからアジアを中心に広く世界に伝わっています。水牛の皮を用いたインドネシアのワヤン、トルコやギリシャでは、ラクダの皮を使ったカラギョーズなどが有名ですが、2011年ユネスコ世界無形文化遺産に登録された中国の皮影戯(ピーインシー)が、その起源ともいわれています。劇団影法師では、30年前よりこの皮影戯(ピーインシー)の公演を続けており、今回の妖怪影絵「ゲゲゲの鬼太郎」の舞台では、この技法を高めた独特の影絵世界を作り上げています。

■プログラム 上演時間：80分(休憩含む)

- 妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」…50分
- 休憩…10分
- 不思議な音のワークショップ…20分

学習発表会のヒントになる、 不思議な音の体験ワークショップ

劇中に使われる効果音。演劇の世界ではとても重要な役割を果たします。現在は本物の音もよく使いますが、本物を超える素晴らしい効果音もあります。想像力が生みだす音を皆さんに体験して頂きたいと思います。



妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」



※公演終了後、不思議な世界のバックステージ見学あり。(影絵の仕組みをのぞいちゃおう!)

美しい色彩

皮影戯に使用される人形は、牛皮に、細かく彫刻し、多様な色を施した芸術的で美しい人形です。この人形を使った影絵は、従来の黒い影ではなく、息をのむような美しい色のついたカラーの影絵になります。

変幻自在

スクリーンに直接照明の光を照射し、人形を透かしたす技術や竹の棒による独特の操作方法は、上、下、右、左と、大型スクリーンの全面を動き回ることが可能で、消えたり、現れたり、変身したり、大きくも小さくもなれる。日本にはない技法がまさに変幻自在な演技を可能にします。

生きている ような動き

素材に皮を使うことによって、丈夫で且つ柔軟な表現が可能な人形ですが、人形の首、肩、肘、手首、股関節、膝、足首などを関節にいたるまで、自在に動かすことが出来る仕組みのため、その表現力の豊かさと動きの繊細さは、まるで生きているかのような演技となって、観客を魅了します。

制作にあたり

下駄の音とともにやってくる鬼太郎。日本じゅうの悪い妖怪たちから人間を守ってくれている。ただ本当に悪いのは、妖怪なのだろうか?妖怪とは何?答えの出ない事を考えさせてくれるのが、漫遊「ゲゲゲの鬼太郎」の魅力でもあります。この影絵劇では、妖怪とは人間の心。妖怪の世界とは目には見えない人間の心世界。こどもたちに、それが身近にある世界であることを感じてもらい、やさしさやおそれ(畏怖)、妖怪たちが語りかける目には見えない「本当にたいせつなもの」を感じて頂ければと思います。もちろん、おなじみの妖怪キャラクターたちが、スクリーンせままと大活躍する楽しいお芝居です。妖怪影絵ワールドに、どうぞご期待ください。

●STAFF

- 原 作 水木 しげる
- 協 力 水木プロダクション
- 演 出 劇団影法師演出部
- 脚 本 さだ たまこ
- 企画・制作 劇団影法師